

## 平成28年度事業計画

同窓会創立101年目の今年度、母校が更に耀きを増す大学として存在するために、定款に定めた事業目的である大学支援事業を的確に実施すると同時に、全学同窓会としての次の100年を目指した基盤の整備と会員サービスの充実を図る。

具体的には、中長期計画の策定や大学と連携をしながら、データベースの整備と機関紙の電子化や昨年配布した会員証の利活用内容拡充し、会員サービスの充実を図る。又、学生会員から正会員へ移行を進めると同時に既卒業生の終身会員入会を促進する。

### 1. 大学支援事業

#### (1) 教育研究支援

大学の教育研究活動に対する支援

##### ア 教育に対する支援

第二部教職科目(職業指導)への実務型教員(非常勤講師)の派遣を継続すると共に、第一部の授業への拡大についての検討も継続

##### イ 教員に対する研究助成等教育研究活動の環境整備に対する支援

##### エ 定年退職教職員への感謝状と記念品贈呈

#### (2) 学生支援

学生の人材育成に対する支援

##### ア 学生の海外研修・留学支援

##### イ 優秀な卒業生に対する「名古屋工業会賞」の贈呈

##### ウ 成績優秀入学生に対する「名古屋工業会特別奨学金」の授与

##### エ 挑戦的課外活動活性化奨励金の給付

##### オ 「工大祭」の支援

##### カ 就職活動支援

- ・ 就職活動対象学生に対し、就職ガイダンスの一環として「OBトップセミナー」・「OB講演会」の開催
- ・ 「卒業生と学生との懇談会」による就職支援

##### キ 留学生後援会への援助

##### ク 在学生及び保護者に対する大学の各種情報提供の支援

#### (3) その他の支援

##### ア 大学が行う各種の事業及び学生活動に対する支援

- ・ ホームカミングデー、創立111周年記念プロジェクト等

##### イ 文部科学省採択の科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業」に対する協力

##### ウ 工業会の諸行事の機会を通じた大学基金への寄付に対する協力

##### エ 同期会、クラブOB会等種々の機会を通じた寄付風土の醸成

### 2. 名古屋工業会の更なる充実のための事業

#### (1) 財政基盤の強化のための会員増強活動

##### ア 在学生への活動

- ① 新入生の入会率向上策の成果検証と、さらなる改善策の検討

- ② 未入会者に対する入会勧誘及び卒業時における未入会学生への勧誘
- イ 卒業生への活動
  - ① 入会率を向上させるため、各種の会合を通じた積極的な入会勧誘の実施
  - ② 各支部行事の機会における支部単位での積極的な入会勧誘
- ウ 単科会への活動
  - ① 単科会が主催する「卒業生と学生の懇談会（前述 1（2）カ）」における未加入者の入会勧誘
  - ② 単科会会員のうち、名古屋工業会未加入者に対する積極的な入会勧誘
- (2) 活性化活動
  - ア 会員交流および広報活動
    - ① 会誌「ごきそ」を隔月に発行し、会員に対する大学情報の提供と会員間交流情報の媒体としてより魅力ある会誌の刊行を行うと共に、平成 28 年 4 月を目途として電子版への移行のための会員に対する啓発活動を実施
    - ② 電子版への移行準備としてホームページの充実
    - ③ 学生会員の保護者に対する当会の理念及び事業等の説明会を開催
    - ④ 当会の事業に賛同する団体(単科会、同期会、クラブ OB 会等)に会友として参加するよう働きかけると共に、「ごきそ」及び「ホームページ」等当会の広報媒体への参加、利用を促進
  - イ 会員情報・優待制度の充実
    - ① 会員優待制度の普及・充実
    - ② 新たに発行した会員証の利用・普及を拡充するとともに、有効期限更新時の会員データ更新も可能なようにする。
    - ③ 人材データベース構築のため、卒業生連携室の協力を得て会員名簿を整備
  - ウ 支部活動
    - ① 会員の人的ネットワーク形成の推進のため各支部の事業を充実し、会員のコミュニケーションの活性化を促進
  - エ 単科会との連携
    - ① 工業会と大学及び単科会との連携等について検討
    - ② 単科会が主催する「卒業生と学生との懇談会（前述 1（2）カ）」を支援
  - オ 講演会の開催
    - ① 会員総会後に特別学術講演会を開催
  - カ 記念品の贈呈
    - ① 叙位叙勲者および国家褒章受賞者に記念品贈呈
    - ② 卒業満 70、60、50、40 周年に該当する会員に記念品贈呈
  - キ 工業会館の建て替えの検討

### 3. その他の事業

- (1) 中長期計画の策定
- (2) 付随的な事業として、オフィス及び駐車場の賃貸

以上

# 平成28年度収支予算書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日)

## 1. 収入の部

(単位:千円)

勘定科目	H28年度予算(A)	H27年度決算(B)	増減(A-B)
<b>1) 事業収入等</b>	5,484	6,051	△ 567
(1) 財産利子収入	2,003	2,300	△ 297
(2) 会誌広告収入	601	601	0
(3) オフィス賃貸収入	2,100	2,236	△ 136
(4) 駐車場賃貸収入	780	914	△ 134
(5) 寄附金収入	0	0	0
<b>2) 入会金, 会費収入</b>	87,376	86,959	417
(1) 入会金収入	164	164	0
(2) 年度会費収入	6,182	6,182	0
(3) 終身会費収入	80,900	80,483	417
(4) 賛助会費収入	130	130	0
<b>3) 雑収入</b>	48	48	0
(1) 雑収入	48	48	0
<b>4) 積立預金取崩収入</b>	1,500	147	1,353
(1) 減価償却積立預金取崩収入	1,500	147	1,353
<b>5) 前期繰越収支差額</b>	7,514	10,835	△ 3,321
(1) 前期繰越収支差額	7,514	10,835	△ 3,321
<b>収入の部合計</b>	<b>101,922</b>	<b>104,040</b>	<b>△ 2,118</b>

※ 平成28年度借入限度額及び債務負担額についての該当事項はありません。

## 2. 支出の部

(単位:千円)

勘定科目	H28年度予算(A)	H27年度決算(B)	増減(A-B)
<b>1) 事業費</b>	85,002	86,662	△1,660
(1) 大学支援事業	48,200	47,541	659
ア 教育研究支援	6,900	6,893	7
イ 学生支援	39,800	39,269	531
ウ その他支援	1,500	1,379	121
(2) 工業会の充実のための事業	34,185	35,771	△ 1,586
ア 会員増強活動	3,870	5,774	△ 1,904
イ 広報活動	17,000	16,442	558
ウ 支部活動	12,010	12,251	△ 241
エ 会員慶弔	1,128	1,127	1
オ 講演会	177	177	0
(3) 収益事業	2,617	3,350	△ 733
ア オフィス賃貸	2,100	2,833	△ 733
イ 駐車場賃貸	517	517	0
<b>2) 管理費</b>	10,000	9,717	283
(1) 総会経費	2,500	2,334	166
(2) 管理諸経費	7,500	7,383	117
<b>3) 固定資産取得支出</b>	1,500	147	1,353
(1) 固定資産取得支出	1,500	147	1,353
<b>4) 次期繰越収支差額</b>	5,420	7,514	△ 2,094
(1) 次期繰越収支差額	5,420	7,514	△ 2,094
<b>支出の部合計</b>	<b>101,922</b>	<b>104,040</b>	<b>△ 2,118</b>



# 特別講演

TOKUBETSU KOUEN

## 運転支援システムの変遷

—過去の体験を通じて見える将来像—

株式会社豊田中央研究所

リサーチアドバイザー 浅野 勝宏 (E53)

名古屋工業会の総会において併設して、(株)豊田中央研究所の浅野勝宏氏による特別講演会「運転支援システムの変遷 –過去の経験を通じて見える将来像–」が開催された。

まずは、彼が携わったタイヤ空気圧推定装置の実用化に向けた苦労話から始まった。

この装置は、車輪速度の振動現象から空気圧を推定する間接推定方式で、追加されるハードウェアが少ないため低コストである。実用化、他車種への横展開が着実に進められていた。

しかしながら、米国で起きたフォード車の横転事故で状況は一変した。事故の主要因は、メーカーが推奨するタイヤ標準圧が低すぎたため生じたタイヤのバーストであったが、事態は、タイヤ空気圧警報装置搭載を義務づける法規制にまで及んだ。この規制値が間接推定方式にとって厳しいものであったため、結果的に開発中止を余儀なくされたとのこと。

当時、国内の様々な要素技術は世界をリードしていたが、後から設定される法規制や標準化に適合せず、涙を飲むことも多かったようだ。

次に、自動ブレーキの要素技術である路面滑り易さ推定に挑戦された。当時は、機械が運転者によってブレーキを操作するからには、たとえ凍結路であっても、衝突することは許されず、路面の滑り易さを検出して、早いタイミングでブレーキ制御を開始することが要求された。安全に関しては保守的で、公道実験も様々な規制があった。この技術は、車々間、路車間通信が開発途上では、前方の路面滑り易さ情報を共有することが難しく、一旦棚入れすることになったとのこと。



一方、欧米では産学官が連携して自動運転の戦略的な研究開発が進められていた。米国で行われた自動運転競技会では各大学が先端技術を磨き合った。そこで培われた技術は、グーグルに引き継がれ、2010年に行われた自動運転車の公道実験で、世界を驚愕させた。

これに対し、国内では戦略また要素技術でも欧米に先を越された危機感から、内閣府主導の産学連携プログラムが強力に進められた。

豊田中央研究所では、自動運転のキー技術であるイメージングレーザレーダの大幅な小型低コスト化が進められている。また、市販車両の車載センサー情報を利用して鮮度の高い高精度3次元地図データを自動生成するクラウドシステムが試作されている。欧米の戦略やルールづくりに追従しながらも、要素技術で猛烈に巻き返しを図っている最中とのこと。

今後は、高速道路の手放し運転よりは、むしろ、三ノ宮や梅田で起きた自動車暴走事故を防止する自動停止システムの開発が急務と主張されていた。車はドライバー次第で凶器になり得る。さらに、テロリストが自動運転車を悪用すれば、武器になり得るので、車をネットに繋な

げクラウド上で遠隔自動停止することも必要と言う。また、路面滑り易さ情報もクラウド上で共有すれば毎年のように繰り返されるスリップによる多重玉突き事故も抑制できるとのこと。

なお、今後の自動車マーケットは自動運転のターゲットである日米欧では減少傾向で、新興国で急拡大する。新興国の運転を経験し、その中から潜在的なニーズを自ら掴み取ってくる

アグレッシブな若者の育成・出現が待たれる。一億総活躍社会の中で、61歳となった講師も、可能な限り貢献していきたいとのことであった。

講演後、会員から自動運転の最新技術や世界の動向に触れることができ良かった等、好評な意見が多く寄せられた。

## 名古屋工業会 会員優待のご紹介 (詳しくはHPをご覧ください)

### ◎ 名古屋ボストン美術館 無料入場 (本人)

チケット売り場に会員証を提示し、入館券を受領願います。

### ◎ 徳川美術館 無料入場 (同伴者1名可)

チケット売り場に会員証を提示し、入館券を受領願います。  
なお、入館券を提示すると、日本庭園徳川園も半額にてご入園いただけます。

### ◎ 宿泊割引 (HPでご確認ください)

- ・アソシア ホテルズ & リゾーズ ・東急ホテルズ
- ・名鉄グランドホテル ・ニューグランドホテル

### ◎ 支部施設 (HPでご確認ください)

- ・東京サロン (八重洲倶楽部) ・大阪支部利用施設 (中央電気倶楽部)

### ◎ 大学施設 (HPでご確認ください)

- ・(旧) 木曾福島修練所

### ◎ その他 (会誌「ごきそ」に同封いたします)

- ・上新電機(株)特別優待 ・三井住友トラスト・カード VISAゴールドカード



# ホットライン

## 表彰者紹介

平成27年度叙位・叙勲受章者は以下のとおりです。  
5月21日の名古屋工業会の総会で、工業会からの表彰を行いました。

〔瑞宝中綬章〕  
(教育研究功労)

宮崎 亨



【学 歴】

昭和35年3月 名古屋工業大学 金属工学科  
昭和40年3月 東北大学大学院工学研究科博士課程修了

【職 歴】

昭和40年4月 東北大学金属材料研究所助手  
昭和42年1月 名古屋工業大学金属工学科講師  
助教授、教授を経て副学長  
平成12年3月 退官、名誉教授

コメント：

専門分野：材料相変態論、材料組織学

研究分野：組織自由エネルギー論、スピノーダル分解、組織分岐論、組織シミュレーション、組成傾斜時効法

日本金属学会理事、副会長、第48代会長

〔瑞宝中綬章〕  
(教育研究功労)

津田 和一



【学 歴】

昭和39年3月 大阪市立大学大学院工学研究科  
博士課程中退

【職 歴】

昭和39年4月 大阪市立大学工学部 助手  
昭和42年3月 名古屋工業大学工学部 繊維高分子工学科 助教授  
昭和42年3月 米国インディアナ州立パデュー大学 博士研究員  
昭和53年4月 名古屋工業大学工学部 教授  
平成元年3月 文部省短期在外研究員  
平成11年3月 名古屋工業大学 退官  
平成11年4月 名古屋工業大学 名誉教授

コメント：時代と共に世の中が急激に変化しています。同様に研究も目まぐるしく進歩発展している現状を見るにつけ、名工大で携わってきた研究開発がどの程度世の中のためになっていくのかを考えた時忸怩たる思いにとらわれることがあります。また、学生の教育についても現在では考え方、教え方について以前とは全く異なっています。このような現状を見るにつけ教育というもののむつかしさを自覚する一方、在任中やれるだけのことはやり、名工大在籍は世の中のために役立ったものと思っています。

平成28年5月21日

会員各位

一般社団法人 名古屋工業会  
理事長 水嶋 敏夫

### 平成28年度定期総会及び決議ご通知

平成28年5月21日(土)開催の一般社団法人名古屋工業会定期総会において、議案全てが議決されましたのでご通知申し上げます。



「瑞宝小綬章」  
(建設行政事務功勞)

原田 彪



【学 歴】

昭和42年3月 名古屋工業大学 土木工学科卒業

【職 歴】

昭和42年4月 建設省入省 北海道開発局豊平峡  
ダム建設事務所配属  
昭和52年3月 外務省経済協力局経済協力第二課  
課長補佐  
昭和56年8月 建設省河川局防災課 課長補佐  
昭和58年6月 建設省東北地方建設局月山ダム  
工事事務所長  
平成元年9月 財団法人先端建設技術センター  
研究第二部長  
平成5年11月 建設省四国地方建設局河川部長  
平成7年4月 退官

コメント：建設省でいくつもの建設事業に携わりましたが、授業の時に先生方から聞いた余談が土木工学専門知識と共に大いに役立ちました。高校生の時に土木の道に進むことを決心し土木工学科に入学しましたが、人生を振り返ると土木技術者は私の天職でした。

「瑞宝双光賞」  
(地方自治功勞)

神谷 茂



【学 歴】

昭和22年3月 名古屋工業専門學校 一部土木科  
卒業

【職 歴】

昭和22年4月 愛知県土木部道路課  
昭和48年4月 愛知県道路公社 尾張パークウェ  
イ建設事務所長  
昭和51年4月 愛知県企業局 衣浦港工事事務所長  
昭和53年6月 一等級  
昭和56年4月 愛知県企業庁 用地部工務課長  
昭和59年3月 退職

「従四位 瑞宝小綬章」  
(経済産業行政功勞)

小谷 一郎



【学 歴】

昭和55年3月 繊維高分子工学科  
昭和57年3月 大学院 工学研究科 繊維高分子  
工学専攻  
平成20年3月 中央大学 法学部 通信教育課程

【職 歴】

昭和57年4月 通商産業省 特許庁 審査第3部  
審査官補 他  
平成23年4月 経済産業省 特許庁 審判部第10  
部門 部門長・審判長(平成11～  
13年度 長岡科学技術大学 講師)  
平成25年7月 小谷国際特許事務所 所長  
平成25年10月 一般財団法人工業所有権協力センター  
調査業務センター 機械B部門 主幹

コメント：昨年9月就寝中に亡くなりました。名工大OBの皆様には大変お世話になりました。大学・大学院では高分子合成が専門ですが、入庁して配属されたのは機械系の旧審査第3部でした。以来、審査・審判で担当した技術分野は、掃除機・洗濯機などから自動車関係へと移行しました。管理職になり、人事院の面接官、新人採用、及び研修所教官を担当しました。一方で、大学時代には空手道部、昨年まで合気道他の武道やスポーツなど、趣味も堪能しました。



# 新聞記事コーナー

## 中日新聞

掲載日	刊	面	氏名	所属学科等	記事タイトル(内容)
2016/4/15	朝	8	名古屋工業大学	—	地域再生題材に同友会セミナー
2016/4/29	朝		長島 徹 池田哲夫 小和田正	卒業生(W40) 名誉教授 名誉教授	春の叙勲受章者—旭日重光章、瑞宝中綬章
2016/4/29	朝	24	麓 和善	建築・デザイン工学科	20年7月竣工「対応可能」市議会 市議懸念に竹中側説明
2016/5/7	朝	18	井戸田秀樹	建築・デザイン工学科	耐震化の重要性考える 中区で市など 15日に緊急シンポ
2016/5/7	東濃版 朝	18	松本直司	社会学専攻	中山道の景観整備完成 太鼓や踊り 市民ら祝う 中津川
2016/5/13	朝	25	北川啓介	建築・デザイン工学科	ナゴヤラジオ北川准教授文科相表彰 ものづくり証言 続々配信
2016/5/15	知多版 朝	20	佐野明人	機械工学科	ばねの力で歩行支援 大府で障害者ら 眼鏡型端末も体験
2016/5/15	朝	21	井戸田秀樹	建築・デザイン工学科	まず耐震化を 熊本地震の教訓 名古屋でシンポ
2016/5/15	朝	22	井戸田秀樹	建築・デザイン工学科	専門家「耐震化は急務」名工大 熊本地震1カ月シンポ
2016/5/18	岐阜版 朝	22	井戸田秀樹	建築・デザイン工学科	専門家「耐震化は急務」名工大 熊本地震1カ月シンポ
2016/5/24	岐阜版 朝	19	名古屋工業大学	—	弓道 東海学生選手権最終日(22日・愛知県体育館)
2016/5/25	三重版 朝	17	名古屋工業大学	—	弓道 東海学生選手権最終日(22日・愛知県体育館)
2016/5/28	朝	24	伊藤孝紀	建築・デザイン工学科	案内サイン 見やすく刷新 名古屋国際会議場 床や柱も活用
2016/5/30	朝	12	名古屋工業大学	—	ハンドボール 東海学生リーグ入れ替え戦
2016/6/6	朝	12	名古屋工業大学	—	愛知学生アイスホッケー
2016/6/12	可児版 朝	24	藤岡信子	建築・デザイン工学科	「クローズアップ」明治座の歴史 絵本に 中津川の本間さん 地域の宝 次代も知って
2016/6/12	東濃版 朝	24	藤岡信子	建築・デザイン工学科	「クローズアップ」明治座の歴史 絵本に 中津川の本間さん 地域の宝 次代も知って
2016/6/12	朝	27	松浦 愛	在学生	防災キャンプ 本社で事前講習 大学生、新聞紙で食器

## 中部経済新聞

掲載日	刊	面	氏名	所属学科等	記事タイトル(内容)
2016/4/19	朝	3	坂口正道	電気・機械工学専攻	「研究現場発」VR技術のリハビリへの応用 錯覚を利用して 感覚、運動機能を取り戻す
2016/5/24	朝	3	吉田奈央子	若手イノベーター 養成センター	「研究現場発」有機ハロゲンで呼吸する微生物 既知株の10倍 の分解速度地下水環境浄化に期待